



日本舞踊の授業

幸せだなんて思いました。言葉で言い表せないほど…

正解のない課題に挑み、得たものとは



川村中学校・高等学校



1924年の創立以降、「感謝の心」を基盤として、豊かな教養、人間性、品格を兼ね備えた自立した女性を育む。  
「伝統あるお嬢様学校と言われますが、ユニークな人が多いですよ。そして、友達が好きなことに熱中しているとがんばって認め合える。男子校かって思っちゃいます(笑)。それに、みんな見て見ぬふりはしない。だから、一人でポツンとしている子はいませんよ、誰かが必ず声をかけるから」と生徒たち。JR目白駅から徒歩1分にある校舎では、毎日ワイワイと楽しげな声が響いている。





今年度より高校も会食（給食）を開始



3年連続でクエストカップ全国大会出場を果たす



「おおー！ソウー」。生まれて初めて見る本物のソウを前に、私の息子はキラキラと瞳を輝かせた。あれから20年たった今年4月、同じ瞳に出会った。川村高等学校1年生が取り組む「職業探究プログラム」の初回オリエンテーションでは「今までと違い、外に向かうプログラム。川村は新しいことに会おうきっかけをくれる学校です。そこで、自分の新たな一面も発見したり」と教室内は、生徒たちのワクワク感が溢れ溢れていた。

同校では、国際化が進み多様化する社会で「生きる力」を培うため、総合的な学習の時間に注力している。中1〜高3で、生命、環境、自覚、共生、平和、自立とテーマを設定し、社会に対する見識を深めながら、自己を認識する。例えば、中2では環境をテーマにフィールドワークの場として黒部ダム・樺池高層湿原に出かけます。その後、関心を寄せた事柄についての学習に取り組めます。生徒一人ひとり関心が異なりますので、テーマはさまざまです」と渡邊隆之教諭。どの学年においても必ず事前学習に取り組んだ上で、校外学習を通して理解を深め、事後に自分の考えをまとめて発表を行う。

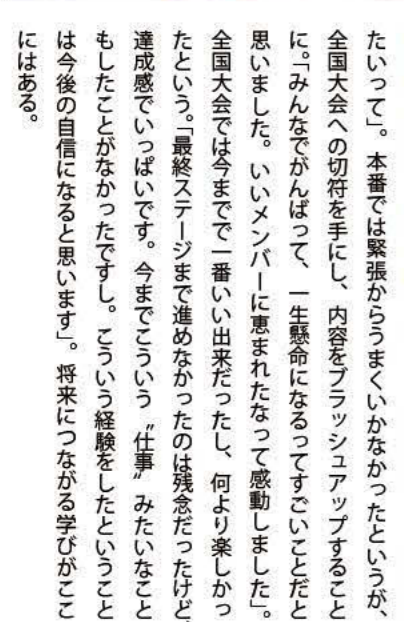
「社会における人との共生を体験してもらいたい」（堀内美由紀教頭）と、高1では共生をテーマに、職業探究プログラムとして探求型学習カリキュラム「クエストエデュケーション」を導入。企業におけるインターンシップを教室で体験学習する。その内容は、実在の企業6社の中から希望する1社を選択し、チームを編成。フイ

ルドワークなどを通じ、各企業の事業内容や社会における役割、企業文化などを理解。その後、企業から提示されるミッションにゼロから取り組み、情報収集やブレインストーミングなどを重ねながらプランを練り上げ、プレゼンテーションを行うというもの。

昨年度、そのプログラムの最終発表の場であり、事前審査で選ばれたチームのみが出場できる「クエストカップ全国大会」への出場を果たした島田彰歌さん、中村仁美さん、松川陽香さん、尾木和佳奈さん、森うららさんの5人組はソフトバンクグループのインターンシップに取り組んだ。企業から出されたミッションは？と尋ねると「子どもたちの魂に火をつける！ICTの力で創り出す『未来の学校』を提案せよ！」と期せずして、5人から声をそろえた返答が。チームワークが良いねと話すと「最初はそれほど仲が良いわけではなかったんですよ。そんな5人でミッションに取り組み、意見を出し合う。こんなにもおもしろい意見を出すんだとか。全然考え方が違うとか。みんなの本心が聞けたりもして、とても貴重な時間でした。意見がぶつかった時には何？って思ったこともありました（笑）。でも、その中で、自分の意見を押し通すだけじゃなくて、みんなの意見を聞いて、一つのことを創り上げる。いいね！それ！とみんなの意見が一つになったときには、すごく感動しました」。中間報告では、各グループがプランの概略を発表。生徒同士で評価し合った。「私たちは伝わりやすさ、面白さを重視し、演劇風に発表したのですが、劇が長すぎてくどい」という意見ももらいました。そこで、再度練り直しました。プレゼンテーションまで時間がない中で、昼休みや放課後の時間も取り組んだ。やるからには一生懸命やりたい。自分たちが納得できるようなものを創り



たいって。本番では緊張からうまくいかなかったというが、全国大会への切符を手にし、内容をブラッシュアップすることに。「みんなでがんばって、一生懸命になるってすごいことだと思えました。いいメンバーに恵まれたなって感動しました」。全国大会では今までで一番いい出来だったし、何より楽しかったという。最終ステージまで進めなかったのは残念だったけど達成感でいっぱいなんです。今までこういう「仕事」みたいなこともしたことがなかったです。こういう経験をしたいということには今後の自信になると思っています。将来につながる学びがここにはある。



川村と言えば「三本線」のライン。川をイメージしている



校外学習で訪れた鎌倉の地図作り



避難訓練の実施、安全対策にも万全を期す